

印刷けんぽ

新年特別号

ニュース No.175

全国印刷工業健康保険組合
東京都中央区新川1-5-13
☎03-3551-9301
平成29年1月5日発行

<http://www.insatukenpo.or.jp>

年頭のご挨拶(年頭所感)

理事長 青木 宏至



あけましておめでとうございます。

新しい年を迎え、被保険者並びにご家族の皆様におかれましては、よき新春を健やかに迎えの事とお慶び申し上げます。また、平素より当組合の事業運営に格別のご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、地震や台風といった自然災害が日本列島を襲い、各地で様々な被害が起きました。4月には熊本で震度7を記録する大地震があり、また、8月には4つの台風が日本列島に上陸し、多くの被害を及ぼしました。このような出来事は、突如として私たちの平穏な日常生活を奪い、経済的な打撃は全国的に波及するなど、あらためて、自然の驚異を実感したところです。被害に遭われた方々には心よりお見舞い申し上げます。

明るい話題としては、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックにおいて、日本人選手が柔道、競泳、レスリングをはじめ、卓球、テニス、バドミントン等々、たくさんの競技で活躍したことです。また、選手皆さんの競技に取り組む懸命な姿に多くの勇気と感動をもらいました。3年後の東京オリンピック・パラリンピック開催には解決しなければならない数多くの課題が残されていますが、絶好のスタートを切ることができたのではないのでしょうか。

一方、我々印刷業界を取り巻く環境は、IT化の進展に伴うペーパーレス化、電子書籍の台頭による印刷物の減少など、様々な脅威にさらされ、依然として経営環境は厳しい状態が続いているところでございます。アメリカ大統領に就任するトランプ氏の対日政策によっては、日本経済、ひいては印刷業界の景気後退が懸念されることから、その動向には目が離せないところです。

このような中、我々健保組合を取り巻く情勢としては、まず、本年の1月からご加入の被保険者・被扶養者の皆様方につきましましては、資格取得届等を提出していただく際に、マイナンバーを併せて収集させていただくことになりました。当組合といたしましては、皆様方の大切な個人情報を慎重に取り扱ってまいりますので、何卒、ご理解・ご協力を賜りたく、お願い申し上げます。

また、当組合の財政状況につきましては、平成27年3月1日より、本部を中心とした組織の再編によって、平成27年度は約7億円の黒字となり、実に8年ぶりの黒字決算となりました。さらに、平成28年度も昨年を上回る黒字決算を見込んでおります。しかしながら、がんにも有効なオプジーボをはじめとする高額な薬剤等による医療費の膨張や高齢者医療制度の過酷な納付金の増大等、まだまだ組合財政にとっては不安な要素が多々ございます。昭和45年に65歳以上の人口が7%を超え、高齢化社会に突入した我が国ですが、現在は、これが26.7%となり、世界でも類を見ないスピードで高齢化が進んでおります。その結果、高齢者の医療費はますます高騰し、これを賄うために納付金・支援金の負担増が健保組合の財政をさらに圧迫することが懸念されるところでございます。

こうした中で、政府は増加し続ける医療費に対して、平成28年度から平成30年度の3年間で、社会保障費の伸びを1兆5,000億円に抑えるべく、様々な方法を模索しているところです。その対策のひとつとして、健康保険料に続いて、介護保険料についても、平成30年度より予定していた総報酬制の導入を、前倒しで平成29年度から実施することや、高額な薬剤費の特例的対応による引き下げ等を検討しております。

本年も、社会保障制度において、様々な課題が山積しているところでございますが、今後とも、当組合は、事業主並びに被保険者、ご家族の医療のセーフティネットとしての役割を果たすべく、財政健全化により一層努めてまいりたいと存じます。つきましては、皆様方におかれましては、当組合の事業運営に、絶大なご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

最後になりますが、皆様にとって、今年がよき年であることをお祈り申し上げまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

